

アート

Minatomachi POTLUCK BUILDING 3F

「Exhibition space」オープン記念

THE BEGINNINGS (or Open-Ended)

港まちづくり協議会では、この度新たな拠点となる「Minatomachi POTLUCK BUILDING (=ポットラックビル)」の3階に約110㎡のギャラリースペースをオープンします。これから落としとなる本展は「THE BEGINNINGS (or Open-Ended)」と題し、ゲストキュレーターに飯田志保子を迎え、2組のアーティスト(毛利悠子、ペーター・フィッシュリ&ダヴィッド・ヴァイス)の作品を段階的に展示します。

開催概要

第1期 | 2015年10月4日(日) - 10月31日(土)

第2期 | 2016年2月26日(金) - 3月27日(日)

会場

Minatomachi POTLUCK BUILDING 3F
「Exhibition space」

開催時間

11:00 - 19:00

(入場は閉館時間の30分前まで)

休館日

日曜・月曜・祝日 (ただし、10月4日[日]、3月27日[日]は開館)

主催

港まちづくり協議会



〈I/O—ある作曲家の部屋〉横浜美術館(2014)
撮影:田中雄一郎 提供:横浜トリエンナーレ組織委員会



copyright the artists Courtesy Galerie Eva Presenhuber, Zurich;
Sprüth Magers, Berlin / London; Matthew Marks Gallery, New York, Los Angeles

見どころ

1 未来に向けて拡張していくアートの可能性を提示

音楽家とのコラボレーション、舞台美術など多方面での活躍がめざましい毛利悠子は、偶発的な要因が作用し合う作品をつくってきました。こうしたモノ自体の可動性、流動性や、いつ事が起こるか分からない偶然性と不完全性を許容する態度は、結果的にものごとをゆるやかに接続し、運動を持続させます。本展では、毛利を含む多くのアーティストに影響を与えた歴史的な名作、フィッシュリ&ヴァイスによる映像作品《事の次第》(1987年)とともに展示することで、スペースのオープンをかきわきに展開される複数のものごとののはじまり、また自然に発生するさまざまな反応や変化に対して開かれていく、これからの可能性を探ります。

2 毛利悠子の滞在制作による新作発表

2期に渡り開催する本展は、フィッシュリ&ヴァイスの代表作《事の次第》を両期間で通底させつつ、1期では毛利の過去の作品を中心に展示し、2期では毛利が港まちをリサーチし、その体験を元に新作を制作します。このまちに住んでいる人や観光で訪れる人、クリエイティブな想いを持って活動する人など、多くの人たちが混じり合いながら新たなまちの風景をつくっていくように、本展を通じて新たに立ち上がるアートの風景をお楽しみください。

お問い合わせ

港まちづくり協議会事務局 広報 | 岡西

〒455-0037 名古屋港区名港1-19-23 Minatomachi POTLUCK BUILDING (港まちポットラックビル)

TEL | 052-654-8911 Mail | okanishi@minnatomachi.jp

Web | minnatomachi.jp



まちづくり 港まち100周年記念企画

～港まちのこれまでとこれから /

Link the past to the future of Port Town～

今年、この地域の小学校が創立100周年を迎えます。港まちづくり協議会では港まち100周年記念事業の一環として、写真展「港まちのこれまでとこれから/Link the past to the future of Port Town」を10月4日(日)から開催します。この写真展は、地元住民の方から収集した過去の写真をきっかけに、昔を振り返り、当時の話やエピソードをアーカイブ(記録・保存)するとともに、その取り組みを通して子供から高齢者までの多世代交流の機会を提供することを目的としています。

本事業ではこれまで、昔の写真を手がかりに、学校の授業時間を使い、小学生5・6年生を対象とした「未来に残したい今の港まちの風景を切り取る」活動を6月に、また8月には当施設で児童有志が高齢者の方から話を聞き、エピソードを記録する活動も実施してきました。

開催概要

2015年10月4日(日) - 11月7日(土)

会場

Minatomachi POTLUCK BUILDING 2F
「Project space」

開催時間

11:00 - 19:00
(入場は閉館時間の30分前まで)

休館日

日曜・月曜・祝日 (ただし、10月4日[日]は開館)

主催

港まちづくり協議会

協力

西築地学区連絡協議会、西築地小学校



■ 本展の見どころ

① まちの歴史・文化の共有の場

本展では写真を媒介として、個人の思い出や記憶のなかにある歴史や慣習、価値観を集め、「港まちの文化」として残していきます。まちに暮らす人も、初めてまちに来た人も、このまちの文化が共有ができる場作りを目指しています。

② 成長するアーカイブ

この写真展では「成長するアーカイブ」というテーマで来場者が展示期間中も随時、写真から思い出されるまちについてのエピソードを追加していくことでアーカイブを蓄積していきます。

お問い合わせ

港まちづくり協議会事務局 広報 | 岡西

〒455-0037 名古屋港区名港1-19-23 Minatomachi POTLUCK BUILDING (港まちポットラックビル)

TEL | 052-654-8911 Mail | okanishi@minnatomachi.jp

Web | minnatomachi.jp



アート

×

まちづくり

旧ボタン店をギャラリーに まちに眠る空き家に陽を当てる

「WAKE UP! PROJECT」スタート!!

アートプログラム『Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]』が手掛ける空き家を活用した「WAKE UP! PROJECT」の第1弾として、旧ボタン店を改修したウインドーギャラリー: Botão Gallery(ボタンギャラリー)がオープンします。

監修にアーティストの渡辺英司氏を迎え、オープン記念展としてカラフルな光を取り入れた作品を展開するイギリス人アーティスト、アダム・バーカー ミルの作品を展示します。

Botão Exhibition vol.1

アダム・バーカー ミル 「青いリボン」
Adam Barker-mill “Nastro Azzuro”

会期

2015年10月4日(日) - 10月31日(土)
日・月・祝休み※10月4日(日)はオープン

開館時間

11:00 - 19:00
(入場は閉館時間の30分前まで)

入場料

無料

会場

Botão Gallery (ボタンギャラリー)
名古屋市港区名港1-15-13

監修

渡辺英司(アーティスト)



■ プロジェクトの見どころ

まちが“目覚めていく”新たな取り組み

まちに眠る空き家を活用していく取り組みとして、「WAKE UP! PROJECT」と題したプロジェクトをスタートします。役目を終えた建物を改修し、その場所を表現の場として使っていくことで、建物だけでなくまち全体が再び目覚めていく、そんな新たなまちの価値を創造します。

アートプログラムMAT, Nagoyaについて

『Minatomachi Art Table, Nagoya/みなとまちアートテーブルなごや[MAT, Nagoya]』は、名古屋の港まちをフィールドにしたアートプログラムです。このエリアは、創造性を持って活動する人びとを歓迎し、制作・実践の場を創出することによって、創造的なアイデアをまちに還元していくことを目指します。

お問い合わせ

港まちづくり協議会事務局 広報 | 岡西

〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-23 Minatomachi POTLUCK BUILDING (港まちポットラックビル)

TEL | 052-654-8911 Mail | okanishi@minnatomachi.jp Web | minnatomachi.jp

